

鏡の前で欠かさず発音練習

高井真利子

新潟大学附属図書館旭町分館

你好（ニーハオ）！ - こんにちは！ -
私は去年中国へ旅行して以来、中国が大好きになり中国語の勉強を始めました。中国語はまだカタコトですが、いつかまた中国へ行って中国の人と自然に会話できることを夢見て毎日会話の勉強に励んでいます。

私は今のところ独学で会話の勉強をしています。日中は働いているため夜しか時間がないので、いくつかポイントを決めて勉強しています。そのポイントを紹介する前に中国語について少しふれておきたいと思います。

中国語は私たちが見慣れている漢字が使われていますし、文法も他の外国語に比べあまり複雑な規則はなく、それほど難しくありません。意外と簡単と思いきや、やはり外国語！そんなに甘くはありません。中国語を修得するのに避けて通れない四声（声調）と日本人には馴染みのない発音があるのです。これをマスターすれば初級の約8割は終わったと言えます。

中国語には一つ一つの音節に高、上げ、低、下げの4種類の調子（声調）があり、これを四声と呼びます。例えばローマ字表記の ma（マ）を例にとってみましょう。

- mā 第一声 「妈」=お母さん
- má 第二声 「麻」=麻
- mǎ 第三声 「马」=馬
- mà 第四声 「骂」=ののしる

同じmaの音でも声調が違えばまったく意味が変わってしまいます。お母さんと言ったつもりが、じつは馬の声調だったりして意味が通じない、なんてことが起こりえるのです。



また四声に加えて難しいのが発音です。中国語には日本語の「あいうえお」に相当する「^ボ「bpmf」^モ21音」の子音があるのですが、とりわけ難しいそり舌音（舌を立てて出す音）のzh, ch, sh, rといった私たちが普段使わない子音もあり、アともオともつかない曖昧なeや多種の複母音（iao, uei, iou…）と結びつき発音を厄介なものにしています。それに先程の四声がついてくるのですから、正確に発音しなければ相手に通じないどころか笑われかねません。中国語の難しいところはここにあるのです。

以上のことを踏まえて次は私の学習のポイントについて述べたいと思います。私は文法よりも発音を重視して中国語の勉強を始めました。今一番のテキストとして「NHKラジオ中国語講座」を利用しています。20分間の短い時間なのですが、大変重要な内容がつまっていて文法も少しずつ覚えられます。これを毎日録音して繰り返し聞くようにしています。

ここで第一のポイントですが、録音した発音を大きな声で何度も繰り返し発音するのです。近所

の人に聞かれるのが恥ずかしいくらいの大声で少し大きめに声を出します。そしてその時私は鏡の前に座ります。自分の発音している唇の形がわかりますし、鏡に映っている自分を相手にみたくて会話の練習ができるからです。

第二のポイントは聞き取り練習をすることです。まだ始めて数カ月なのでなかなか聞き取れないのですが、なるべくテキストを見ないで集中して聞くようにしています。

第三のポイントは語彙をふやしていくことです。

これは話す場合にも聞き取る場合にも必要になります。語彙が多ければそれだけ会話が広がっていくからです。でもなかなか覚えられないのが悩みの種です。

最後のポイントは実際に中国語を話す機会を得た時恐れずに話してみることです。単語の羅列でもけっこう通じるものです。相手と話しができた時は本当に嬉しくて、ますますやる気がでてきます。外国の人と話しができるってステキなことだと思います。

スペイン語を少しだけ勉強して

多田 一男

帝京大学医学図書館

英語以外の言葉で、私がこれまでに勉強してきた外国語といえば、スペイン語です。しかし、スペイン語を勉強したのはかなり以前のことで、現在どれほど使いこなせるかといえば、辞書を引けば比較的簡単な文が読めるという程度にすぎません。また、特別な学習法や体験談があるわけでもありません。ですから、多くを語る立場ではないのですが、以下では、スペイン語を少しだけ勉強した体験談等を書いてみようと思います。

英語以外の外国語で最初に勉強したのは、大学の第二外国語の授業で履修したスペイン語でした。スペイン語を選択したのは、大学入学の直前に見たテレビのスペイン語講座がきっかけでした。発音がそれほど難しくそうではなく、単語も綴り字のとおり発音すればよさそうに思えたのです。

確かに、スペイン語のアルファベットは、英語のアルファベットに比べて4文字多いだけで、日本語のローマ字と同じように発音します。単語は



ほぼ綴り字のとおり発音しますので、初心者を取り組みやすいと思います。しかし、スペイン語の発音はすべてやさしいわけではありません。スペイン語のアルファベットには、スペイン語に特有のrrの文字があります。この文字は舌を震わせて発音しますので、少しばかり練習が必要です。

スペイン語の文法は、英語と比べれば複雑です。動詞を例に挙げれば、人称や時制によっていろいろな活用語尾がつきます。また、英語の場合は、名詞に単数と複数の区別があるくらいですが、ス